

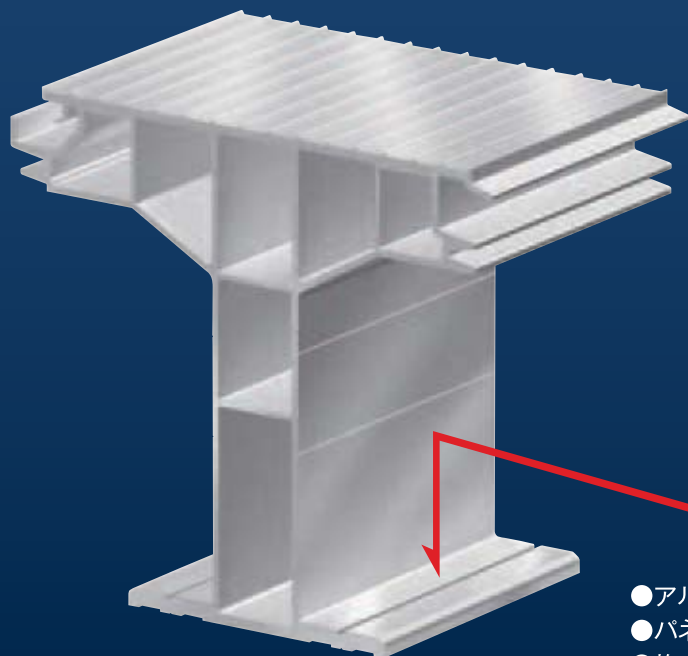
軽くつくれば大きなメリット

プレハブアルミヘリポート

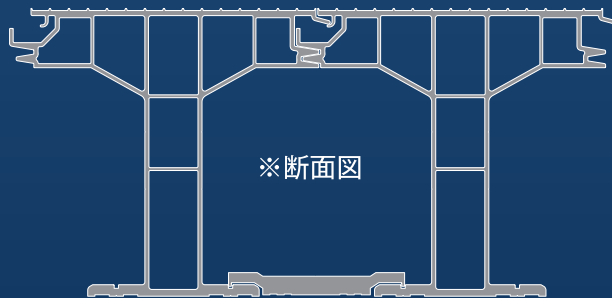
PREFAB ALUMINUM HELIPORT



ヘリポート用アルミデッキ材の性能特性

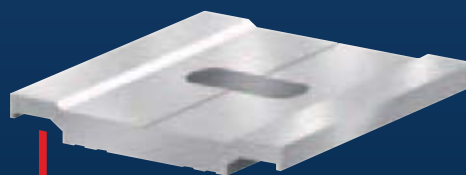


アルミ製デッキ材



※断面図

アルミ製デッキ材押え金物



- アルミの美しさと軽さを活かした軽快な景観デザインを実現。
- パネル強度を活かしたシンプルな構造およびデザインを実現。
- 施工しやすいシンプルな構造で、工程簡略化や工期短縮が可能。
- アルミ製で軽量のため、建物本体の構造スリム化が可能。
- シンプルな施工で、撤去作業も容易。100%リサイクル可能。
- 長期間の使用に耐えられ、ライフサイクルコストの抑制を実現。

●アルミ製デッキ材

材料規格	アルミニウム合金押出形材製デッキ材		形状寸法 巾×高さ	200×200mm
構造特性	断面積	3859.55mm ²	ヤング係数	70000N/mm ²
	単位重量	10.421kg/m	せん断弾性係数	27000MPa
	断面二次モーメント	2180.2cm ⁴	ポアソン比	0.3
	断面係数	180.2cm ³	線膨張係数	23×10 ⁻⁶ /K
	基準強度	210N/mm ²	密度	2700kg/m ³

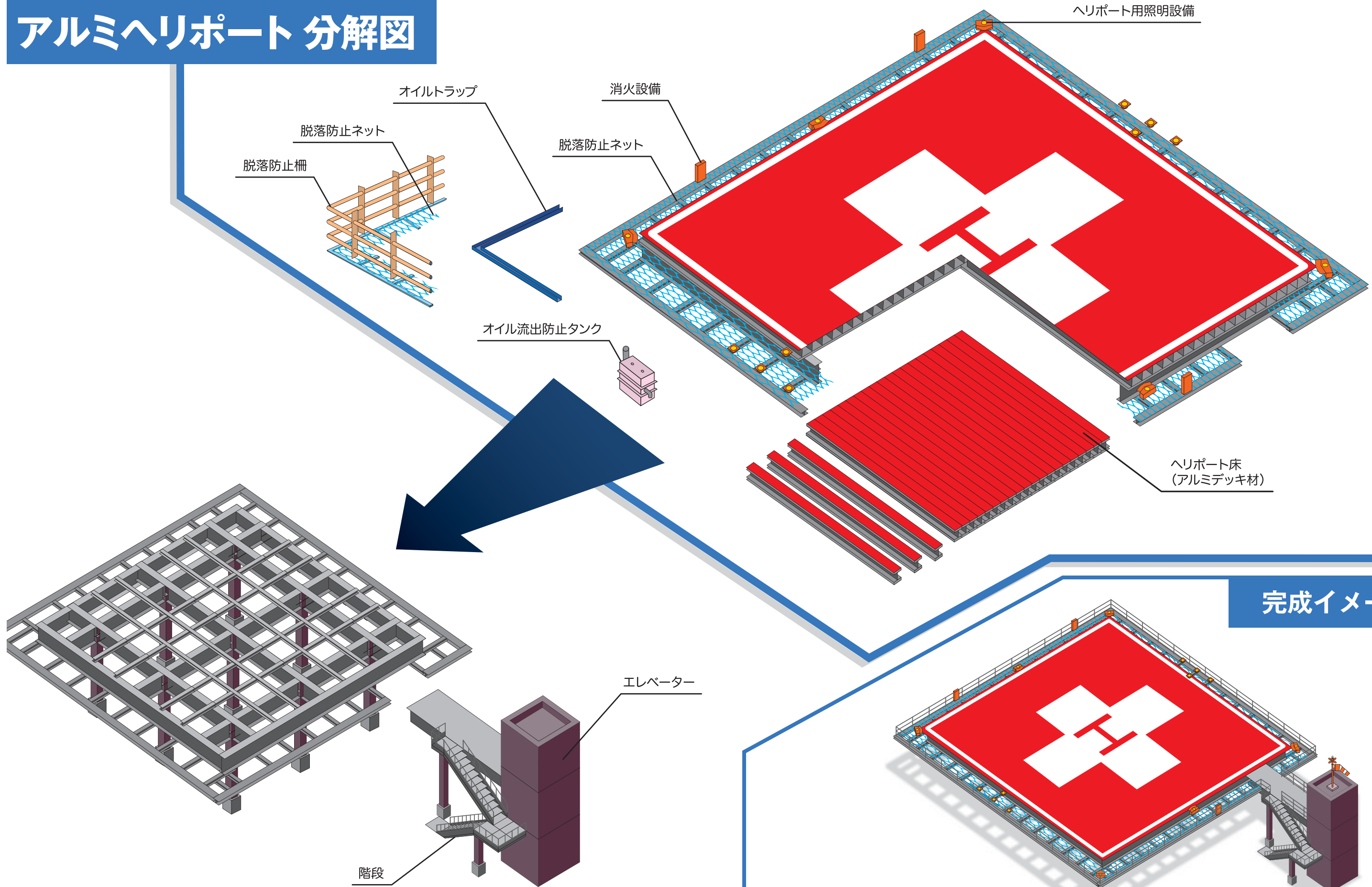
■日本国内の公的試験場で「品質性能試験」を実施

部材を嵌合させて使用するアルミデッキは単体の断面二次モーメントなどの数値だけでは正確な応力がかめません。そのためエアロファシリティでは国内の公的試験場で嵌合させた状態で、応力などの性能試験を行なっています。

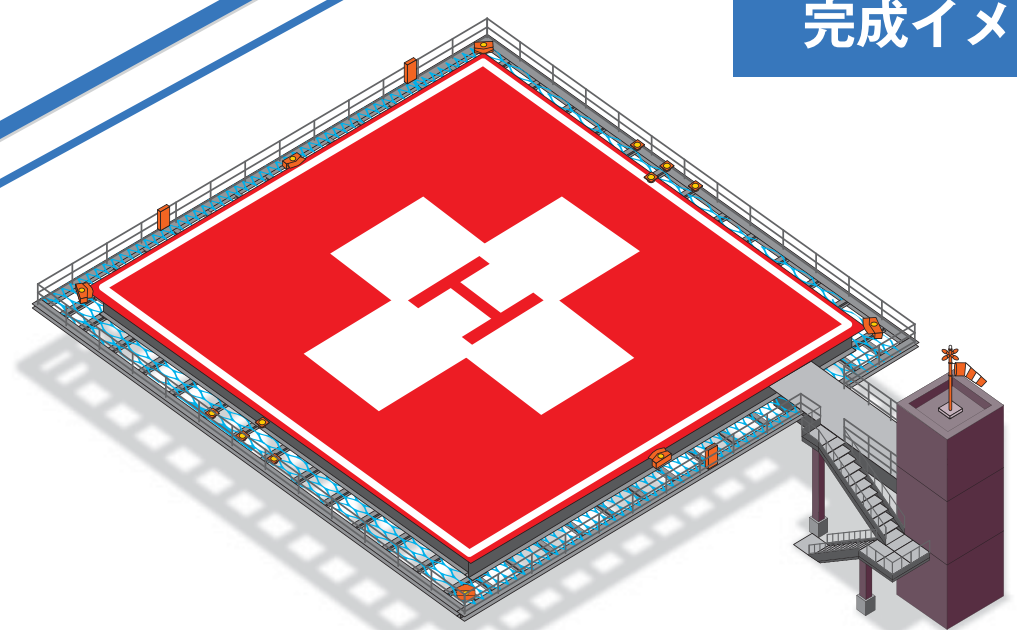


超軽量!! プレハブ式 アルミヘリポート 分解図

エアロファシリティーにおまかせください。



完成イメージ



トータルコストの軽減 軽く強く施工を早く プレハブアルミヘリポート



プレハブ式アルミヘリポートは従来のアスファルト製やコンクリート製に比べ重量は約5分の1に軽減。屋上の荷重が軽減できれば建物本体の躯体重量も軽減でき、建築のトータルコストも削減されます。欧米では約20年前から使用されていますが、そのランニングコストの小さいことには特に評価を得ています。

合理化・省力化を 追求した形状のアルミ素材

耐久性に優れており、最長でも5年で大規模修理が目安であった従来のアスファルト製ヘリポートに対し、基本メンテナンスフリーを謳っています。



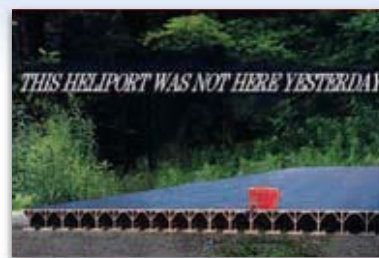
安全設計も パッケージで

安全ネット、スロープ、オイル回収溝とオイル回収タンク等もパッケージでご提供します。また寒冷地用に凍結防止装置も簡単に設置できます。施工期間は極めて短く標準タイプで10日間です。



屋上以外にも素早く ヘリポート!

シンプルな施工手順により工事による近隣住民への迷惑も最小限で済みます。将来移設の可能性のある暫定ヘリポートなどには特にお勧めです。



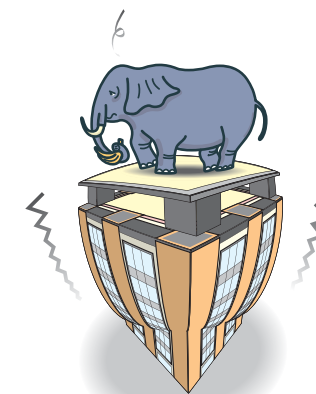
カスタムメイドでどんなデザインのヘリポートも可能!



屋上軽量化でビルもらくちん!!

コンクリート製よりビル建物への負担が少ない「プレハブアルミヘリポート」がオススメです!

通常ヘリポート
154.9 トン
デッキ・ネット合計重量



コンクリート製と比較し、
約17%

プレハブアルミヘリポート
26.9 トン
デッキ・ネット合計重量

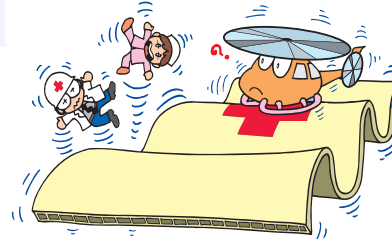


条件1: デッキ部分広さ=20m×20m
条件2: ビル屋上設置(ヘリコプター全装備総重量 6トン…衝撃荷重 13.5トン)
条件3: デッキ周り全周に転落防止ネット(幅1.5m)

国内50以上のアルミヘリポートを建造したエアロファシリティーだからこそ、見逃しがちなポイントにも気を配ります。

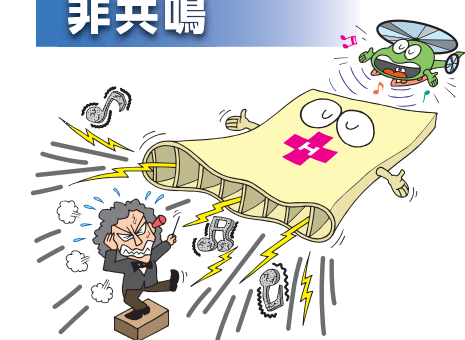
非共振

ヘリコプターの特徴の一つが、ローターの回転とエンジンから来る独特の振動。この固有振動が桁の周波数と揃ってしまうと共振が起こります。



エアロファシリティーの桁床材は緻密な計算と実験からこの共振が発生しないように設計しています。これまでの確かな信頼と実績がそれを証明しています。

非共鳴



桁床材の特徴は管構造。ヘリコプターから発生する音がこの管を通過するときに管がラッパの役割を果たし、騒音を増幅することがあります。エアロファシリティーの桁床材は、周波数の分析と管の形状設定でこれらの心配を回避できます。



見ればアルミヘリポートのすべてがわかる!

動画サイトで
病院屋上ヘリポート を検索!!



エアロファシリティー株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋4-9-1 新橋プラザビル15F
TEL.03-5402-6884 FAX.03-5402-6885

<http://www.aero.co.jp>